

令和2年度第2回放送大学学園契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和3年3月25日(木) 放送大学学園東京文京学習センター WEB会議	
委員長	溝口 周二 (横浜国立大学名誉教授)	
委員	出口 利定 (放送大学学園・監事)	
委員	石井 尚子 (放送大学学園・監事)	
審議対象期間	令和2年4月1日 ~ 令和2年12月31日	
審議事項	(1)令和2年度第1回契約監視委員会において御指摘を受けた事項に対する措置状況 (2)平成31(令和元)年度の一者応札案件のフォローアップ (3)令和2年度の一者応札案件について (4)令和2年度競争性のない随意契約概要(4月~12月締結分)	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	下記のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	
	意見・質問	回答等
(1)令和2年度第1回契約監視委員会において御指摘を受けた事項に対する措置状況		
①コピー用紙の調達 ・どこが今ネックになっていて、今の調達に不都合が生じてるかという意味の分析としては、納品場所を整理し直すというのは非常に意味のあったことと思う。		①ご意見を踏まえて、納品場所を整理し直すなどして1者応札が改善されるよう入札事務に取り組んで参りたい。
②一般廃棄物収集運搬業務の契約 ・入札参加への働きかけについて、当該業務を実施する業者数はもう少しあるという気がしていたので、引き続き頑張ってください。		②ご意見を踏まえて、新規業者に対して入札参加への働きかけを積極的に行うなどして1者応札が改善されるよう入札事務に取り組んで参りたい。
③電子ジャーナル ・電子ジャーナルの利用は、なるべく利用の頻度を増やすような方向を考えざるをえないと思う。 ・これをどこまで必要としている学生がいるのかとか、どれぐらいのコストをかけるかというのは、真剣に検討して議論していかなければいけない部分である。		③ご意見を踏まえて、電子ジャーナルの更なる利用に向けた取組の実施について原課と真剣に検討し議論して参りたい。
(2)平成31(令和元)年度の一者応札案件のフォローアップ		
・一者応札を改善させるために競争参加資格を緩和したり、仕様書の記載を限定しなかったりすることにより、結果として役務の品質が低下することにならないようにバランスがとれるようにしてほしい。		・ご指摘を踏まえて、一者応札の改善と品質の確保のバランスがとれるよう入札事務に取り組んで参りたい。
(3)令和2年度の一者応札案件について		
・2期連続一者応札というものの顔ぶれがだいぶ固定してきている。一方、今回新規で一者応札になった案件が3件あり、こちらについては、今までは複数での応札があったということを見ると、今回なぜ一者応札になってしまったかという分析をして改善するのは、比較的、何年も何年も連続で一者応札になっている案件よりは見込みがあるかもしれない。		・ご指摘を踏まえて、今回新規で1者応札となった案件については、その原因を分析するなどして次回契約時に複数応札となるよう入札事務に取り組んで参りたい。
(4)令和2年度競争性のない随意契約概要(4月~12月締結分)		
・随意契約に該当するのか、競争性を持つ余地はないのかという検討は必要である。今までこうだったからという思い込みとかそういうものではなく、いったん別の目で見えていただくというのは、必要な作業かなと思う。		・随意契約に該当するかどうかについては、実施時に改めてどのような理由から相手方が特定されるのか適切に確認するとともに、入札が可能な案件を安易に随意契約とすることのないよう契約事務に取り組んで参りたい。
・随意契約とする理由として権利関係があるとしているが、本当に契約相手方が権利を保護する対象となっているかきちんと調べておく必要がある。		